詠む広場

毎日俳壇

片山由美子 選

むらさきの犇き合うて紫荊
町田市　枝澤　聖文

〈評〉ハナズオウは高さ3メートルにもなり、赤紫の花をびっしりつける。花ではなく、紫がひしめきあうと表現したのが巧み。

雛の間に立て掛けてある祖母の琴
岡山市　和田　大義

〈評〉母ではなく祖母の琴というのが目を引く。母も弾いたに違いない琴が受け継がれていく。

添削の一字の重み誓子の忌
福岡市　山本　眞弓

剪定の捨てるに惜しき一枝かな
豊田市　内山　幸子

先生の似顔絵残し卒業す
津山市　岡田　邦男

夕刊を畳みしあとの春愁
千葉市　青山希久子

囀りの重なり合へる森の中
相模原市　はやし　央

真つ白きシーツに替へて春の宵
和歌山市　宮本　啓子

ほつれ糸そつと隠して春ショール
春日市　林田　久子

たんぽぽに風やはらかし復活祭
龍ケ崎市　小宮　光司

小川　軽舟 選

風に知る海の近さや鳥雲に
東京　金谷　白道

〈評〉海はまだ見えないが、風は海の風だとわかる。渡り鳥の帰る空の広がりも海がもうすぐだという期待感を高める。

卓球場出でて帰るや春の雨
茨木市　河本　要

〈評〉仲間と卓球に励む間に雨が降り出したらしい。どこかほのぼのとした春の気分がある。

ボクシングジムの大窓初燕
東京　石川　黎

先哲も武将も眠り梅真白
神奈川　中島やさか

菜の花や一歩も退かぬ海の青
明石市　島谷喜代孝

卒業し教師は置き去りのごとく
土浦市　今泉　準一

是よりは柳生街道風光る
奈良市　上田　秋霜

風に鳴るマンションの空鳥帰る
仙台市　古谷　隆男

杉折に並びて届く初諸子
東京　山口　治子

地に止まる冬蝶風に傾ぎけり
福津市　瀧　あき子

西村　和子 選

春暁やねむりの端の水の音
加古川市　中村　立身

〈評〉心地よい春の夜明けの、眠りと目覚めの境目のようなひとときの。水音も快く聞こえる。また眠ってしまいそう。

海荒るる夕べ帰雁の列高し
龍ケ崎市　小宮　光司

〈評〉水平に広がる海と垂直の大空とを描いたスケールの大きな句。はるかな雁の行方をおもう。

春浅しまだ定まらぬ空の色
青森市　小山内豊彦

カウンターに先客のゐる遅日かな
東京　種谷　良二

沈丁花の香り満ちたり猫の墓
鹿嶋市　津田　正義

大仏の肩に並びし雀の子
常陸太田市　舘　健一郎

江ノ電の傾げば傾ぐ春の海
川越市　益子さとし

反戦の声冴え返る雨が降る
岸和田市　板原　克介

緑摘みあらたに構ふ築地松
千葉市　高橋　信子

待ち合はせ時刻は過ぎて犬ふぐり
松本市　伊藤　和夫

井上　康明 選

ゆふぐれや峰々春のにほひする
市川市　高野　厚夫

〈評〉「春のにほひ」とは、木々が芽吹き、草がもえ出るむんむんするような匂い。峰々が闇に沈む夕暮れは、ことに匂いたつ。

うららかや指それぞれが持つ名前
横浜市　菅沼　葉二

〈評〉春の日がうらうらと輝く日、指に触れながらそれぞれに名前がある不思議をたたえている。

花ふぶきそびら淋しき齢かな
龍ケ崎市　小宮　光司

滑り台春の空より下り来る子
長崎市　鶴田　鴻己

飛花落花天竜線の一両車
座間市　谷口麻理子

冴返る献花絶えざる橋の上
宇陀市　泉尾　武則

花筏首をのべたる鷺佇てり
甲府市　清水　輝子

アルバムに遠き死のあり蝶の昼
東京　野上　卓

誓子忌の自転車げんげ田に止まる
さいたま市　関根　道豊

さくら貝たまごの殻の薄さなり
津島市　中川　晶子

アプリで推し短歌

短歌アプリ「57577」の投稿からユーザー人気をふまえ歌人の天野慶さんが選歌と評を担当します。金3首、銀3首を掲載し、他の選歌はアプリ内で紹介します。アプリは右のQRコードから。

短歌アプリ 57577

お題「別」（投稿数755首）

・同じ日の受験票持つ双子でもひとりずつ通る自動改札
三笠山出月

切り取った瞬間が斬新です。なんでも一緒だったふたりが、別々の受験番号を持ち、それぞれの席に座っている……ではなくその前の、強制的に別々になる場面にしたことによりドラマチックに。

・別々の名に絵の具たち返事して体育館に春を描いた
半田臨

卒業式とも、入学式とも読める歌です。はじめは似ている色同士が集まって、行事が終わるたびに色が混ざっていって。体育館に描かれた絵がカラフルであればあるほど、充実した学生生活ですね。

・別れ道振り返らないきりがない選んだ道をいい道にする
あおい

力強く迷いを断ち切る上の句と、まっすぐに前を見つめる下の句が、どちらもきらきら輝いています。受験や就職など、これからやってくるいくつもの分岐点に、歌碑にして置いておきたい歌です。

・新学期ひとり足りない春だった桜は散ってまた咲くだろう
おっとん

・胸の中あなたからの引っ越しをひっそり決めた鍵も置いていく
ちえ

・煙だけ空のどこかへ消えたのにぼくの呼吸がまだ追いかける
イニミニマニモ

＝次回のお題「空」（5月18日掲載）